

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和 6年 3月 29日

事業所名 _____ 放課後デイサービス リズム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数が多くなり過ぎないようにしている	これからも少人数での取り組みを行う
	2	職員の配置数は適切である	○		適切な専門職員数を配置している	これからも適切な職員数を配置する
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		必要に応じてバリアフリー化を検討していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		PDCAサイクルに全てのスタッフが参画できるようにしている	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに全てのスタッフが参画できるようにする
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意向等を把握し、業務改善の必要があれば改善していく	常に保護者の意向等を把握し、業務改善につなげていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価については、必要に応じて行う
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修受講しやすいように時間を確保し費用を負担する	研修の機会を確保し、さらにスタッフの資質向上を目指す
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		適切なアセスメントに基づき課題分析し、個別支援計画書作成している	適切なアセスメントを行い、客観的に課題分析した上で個別支援計画を作成する
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動プログラムの立案は、常にチームで行っている	これからも活動プログラムの立案は、チームで行う
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ニーズに応じて活動プログラムを立案し提供している	固定化しないように、活動プログラムの立案には全てのスタッフで取り組む
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用時間に応じて課題を設定・支援している	これからも利用時間に応じて、課題をきめ細やかに設定し支援する
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動と集団活動を組み合わせ、個別支援計画を作成している	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成する
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前にはスタッフ間で綿密な打合せ・確認を行っている	これからも支援開始前には全てのスタッフで綿密な打合せを行い、その日の支援内容・役割分担について確認する
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	○		支援終了後にはスタッフ間で支援を振り返り、気づいた点等を共有する	これからも支援終了後には全てのスタッフで支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有する
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		適切に支援経過を記録し、支援の改善につなげている	これからも支援に関して正しく記録をとる、支援の検証・改善につなげる
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングにより個別支援計画の見直しの必要性を判断する	これからも定期的モニタリングを行うことで、個別支援計画の見直し等の必要性を判断する
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインの基本活動を組合せて支援を行う	これからもガイドラインの総則の基本活動を組合せて支援する

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参画する	これからもサービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参画する
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校との情報共有・連絡調整が適切に行えるように、体制を整えている	これからも学校との情報共有・連絡調整が適切に行えるように、体制を整える
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		保護者を通じて行っている	保護者を通じて、利用者の主治医等との連絡体制を整える
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者を通じて行っている	保護者を通じて、利用者が就学前に利用していた幼稚園・保育所等との情報共有・相互理解に努める
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	就労支援事業所開設を予定している	これまでは該当する利用者はなかったが、学校を卒業し障がい福祉サービス事業所へ移行する利用者については、放課後デイサービスでの支援内容等の情報提供を行う
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センターと連携、助言を受けている	児童発達支援センター・発達障害者支援センター等の研修を積極的に受講する
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		公園等で、障がいのない子供と活動する機会がある	児童館利用を再開し、児童クラブとの交流にも取り組みたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		地域自立支援協議会等へ、これまでは参加する機会がなかったが、これからは積極的に参加したい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者とライン等で、利用者の状況や課題について共通理解を	これからも保護者と密に連絡を取り合うことで、利用者の状況や課題について常に共通理解を持つ
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者に対して、ペアレントトレーニングを行っている	これからも保護者に対してペアレントトレーニング等を行う
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時、運営規定・支援内容・利用者負担等、丁寧に説明する	運営規定・支援内容・利用者負担等については、契約時に丁寧な説明を心がける
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの相談に応じ、必要な支援を行う	これからも保護者の相談には適切に応じ、必要な助言・支援を行う
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者同士の連携を支援している	保護者同士の連携が密になるよう、保護者会（保護者参加イベント等）開催を再開する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情について、対応の体制を整備し、利用者・保護者に周知している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事予定等、保護者に対しては定期的にライン等で発信する	これからは行事予定・活動概要等に加え連絡体制等の情報についても保護者に対して発信し、定期的な会報等の発行にも取り組む
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報に十分注意している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用者・保護者との意思疎通や情報伝達に配慮する	利用者や保護者との意思疎通・情報伝達のために配慮する
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		コロナ禍で中止していた行事を再開する	地域の人を招待する行事を再開することで、地域に開かれた事業運営を図る

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		緊急対応・防犯・感染症対応マニュアルを策定し周知している	緊急対応・防犯・感染症対応マニュアルを策定し、スタッフ・保護者に周知を徹底する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難救出等訓練を行う	非常災害の発生に備え、避難救出・その他必要な訓練の機会を増やしていきたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止のため、研修機会を確保している	これからも虐待を防止するために、スタッフの研修機会を確保、適切な対応を心がける
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		身体拘束を行うことはないが、どのような場合に行う必要があるのかについて組織的に考え、やむを得ず身体拘束を行うようなことがある場合には個別支援計画に記載する必要があることに留意する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食物アレルギーを持つ利用者はないが、医師の指示書に基づく対応ができるようにする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例集を作成し共有している	